

## 2019年度 かながわハイスクール議会 生徒会参加活動報告書

活動日：8月6日、8月8日、8月16日

活動場所：神奈川県庁 新庁舎

参加者：生徒会より3年 川原 佐藤 1年 三浦 野村 橋本 藤本 堀 松本 谷口 吉原 斎藤

報告者：生徒会1年 三浦果穂

補筆 武田 校正 荒川 伊藤

### ◆ 活動の理由と目的

- ①. 各テーマにそって深く考察し現代の諸問題の解決策や努力目標について議論する
- ②. 他者との議論により、自分自身の思考判断能力の向上を目指す
- ③. 知事への質問状と提言書の作成を通じて政策実現の過程を学ぶ
- ④. 実際の県庁にて神奈川県政治と行政について感じ、考え、学ぶ



### ◆ 活動内容

【1日目】 9:30頃に受付を済ませた後、全体で開会式を行いました。ここで神奈川県が推奨しているSDGs(持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals)についての説明を聞き、実際に行っている活動を伝えられました。また、今回のハイスクール議会に期待されることや、黒岩知事から高校生へのメッセージをうかがいました。午後からは各テーマに基づく課題について討論が始まり、解決するためにいかにすべきかを考えました。

【2日目】 この日は、各テーマに沿って、これから県が取り組むべき課題と、その解決方法・神奈川県知事への質問を考えました。午後からは、議案書と質問要望用紙の完成を目標に活動しました。

【3日目】 議長・副議長・各委員会の委員長・副委員長は10時に会場に集合し、議会リハーサルに参加しました。その他の高校生議員は12時に集合し、1時より議会の全体リハーサルを行いました。その後、黒岩県知事が入場し、本会議が始まりました。2日目にまとめた議案と質問を各委員会の委員長と副委員長が神奈川県知事に発表しました。会議終了後、全員が知事と記念撮影を行いました。

## ◆ 感想

3年間参加しました。2年次は副委員長、3年次には委員長を務めさせて頂き、自身の経験値を積ませて頂きました。今回は「東京オリンピック・パラリンピック特別委員会」に所属し、議論を戦わせました。ハイスクール議会は3日間あり、2日間で意見を練り上げ、3日目に黒岩県知事へ質問と政策提言を行います。私は委員長として政策提言をすることになり、登壇して発表するときには非常に緊張しました。普段は入ることが出来ない県庁で県知事を始めとする皆さんの前で表明するので足が震えました。自分としては、なんとか表現できたのではないかと考えています。このような貴重な経験をさせて頂いたハイスクール議会主催側の皆さんに深く感謝いたします。



記:生徒会3年川原優太

私も3年目の参加です。本当に有意義な時間でした。1年次に副委員長、2年次に委員長そして、3年次の今年は、副議長を経験させて頂きました。あがり症で、人前で話すことが苦手な私でしたが、この3年間で成長することが出来たように思います。

ハイスクール議会には多くの他校生の参加があり、1,2年次に友人になった方も初めて知り合う方もいて3日間を通して絆を深める事が出来たと思っています。主催の青年会議所の方々にお世話をお掛けしました。来年は、サポート側として今までとは違った目線での参加をしたいと考えています。



記:生徒会3年 佐藤あおい

今回初めての参加です。環境農政常任委員会に所属しました。私の委員会には本校生徒会からの参加者が多くとても話しやすかったです。同じ委員会の他校の方たちも親切な方ばかりで、最初こそ緊張しましたが次第に仲良くなれました。県議会場ということで、普段経験できない空気に触れさせて頂きました。この経験を通して、一人の県民として、本県の高校生の代表として大きな課題に立ち向かいました。政策提言を作り上げる過程で成し遂げるための努力や達成感、代表としての責任感を感じました。内容の濃い素晴らしい3日間だったと思います。このことは自分の成長にも繋がり、とても楽しくもありました。次年度も、自らの反省点を振り返って上で、ぜひ参加したいと考えています。

記：生徒会1年 三浦果穂

今回初めて参加させて頂きました。私も環境農政常任委員会で「プラスチックごみ削減」について討

議し、政策提言書をまとめました。緊張の中で、他校生と意見を戦わせ、よりよい意見をくみ上げる事が出来たと考えています。今回のことで政治に興味を持ちました。来年も参加したいです。

**記：生徒会1年 堀文仁**

初めての参加です。私は、「東京オリンピック・パラリンピック特別委員会」で、県庁職員やファミリーテータの方から、オリパラについて自分の知らないことを教えて頂き、そのことに基いた意見を持つようになりました。討議を深めるなかで、他校の方々とも交流ができ、「仲間」になれたと考えています。今年の経験を来年度、参加する後輩達に伝えていきます。そして、来年も参加します。

**記：生徒会1年 吉原向希**

私も初参加で、「環境農政常任委員会」に所属しました。最初は固く重い雰囲気なのかと、ビクついていましたが、討議をしていくうちに、次第に打ち解け、良い政策提言書を組上げることが出来ました。

そして少し苦手だった人と話すことがそれほど苦にならなくなりました。今後も色々なイベントに参加して様々な人と交流していきます。

**記：生徒会1年 谷口勇人**

初めての参加で分かったことが2つあります。1つ目は、自ら意見を言い出す勇気の大切さです。それは、委員長に意見を出すようにと即されて出し体験に共感してくれる人がいました。逆にそれは違うと反論してくれる人もいました。私にとっては、これは初めての感覚でした。2つ目は、相手の意見を尊重することです。私の委員会は「国際文化観光委員会」でした。外国人観光客の問題を話し合いました。

議論の中で、外国人観光客のポイ捨て問題と外国人に理解できないパンフレットの問題が上がったのです。討議する中で、委員の皆さんが他者の意見を尊重しあう姿勢を見てとても良いと思いました。このことをこれからの生徒会活動に活かしていきたいと思います。

**記：生徒会1年 橋本葵**

初めての参加で、とても高いレベルの話し合いができました。私は、「慶應義塾招待会議」での経験から、ある程度の硬い会議になるのではと想像していましたが、思ったほどでもなく、自分の意見を伝えられたと思います。今回は「環境農政常任委員会」に参加しましたが、県北に位置する愛川町の横須賀とは異なる自然環境について耳にする事が出来ました。また、「海洋プラスチック」については知識の差があり、ついて行くのが大変でした。とても有意義な時間でした。

**記：生徒会1年 野村晃暉**

私は第8委員会(経済産業推進特別委員会)に参加しました。話すのが苦手で、話し合いに参加できるかが心配でした。しかし、今まで参加してきた活動で多くの人と関わりを持ったことで話す力がついたのかもしれない。話し合いに自分から参加できるようになっていました。来年も参加したいと思っています。

**記：生徒会1年 藤本真輝**

今回初めて参加させてもらいました。県議会本会議場で、県知事、県議会議員の皆さんと話し合うことが、こんなにも緊張するものだとは思っていませんでした。今回、意見を共有することの大事さを学んだと思います。最初は討議に参加出来るのか不安でしたが、すんなりと入る事が出来ました。また自分の行動の1つ1つが自分だけでなく、学校の評価にも繋がるのだということも、会議全般を通じてわかりました。

**記：生徒会1年 松本葵**